

講演者：松坂 俊輝 氏（九州大学）

題名：Gregory coefficients, revisited

要旨：James Gregory の名を冠する有理数列（OEIS: A002206）について多重ゼータの観点から再考する，というのが本講演の目的である．この数列は，例えば Mascheroni が示した Euler 定数の級数表示に用いられることに代表されるように，長い歴史の中で度々注目されてきた．時には第二種 Bernoulli 数と呼ばれることもあるが，古典的な Bernoulli 数と比べると，それほど多く語られてこなかったといえるだろう．今回の講演では，多重ゼータ関数の原点での漸近係数に Gregory 係数が現れること，そして Mascheroni の結果に立ち帰り，有限多重ゼータ値を考える枠組みとして導入された環 A における Euler 定数の類似に関する考察について紹介したい．（一つ目の結果は村原英樹氏，小野塚友一氏，二つ目の結果は金子昌信氏，関真一郎氏との共同研究に基づく）